

ご意見の内容及びご意見に対するご回答

意見提出元： シスコシステムズ合同会社

No	該当箇所	ご意見の内容	ご回答
1	スマートメータ通信ネットワーク部分における方式のご提案 FAN(Field Area Network)における国際標準動向のご提案	<p><意見内容></p> <p><概要></p> <p>現在、海外でスマートグリッドに使用されている情報通信技術で中心となっているのは、過去 20 年以上に渡り使われ、今後の発展も見込まれるインターネットプロトコル(IP)を基盤とした技術、及びその IP を使用するための各種標準技術です。</p> <p>情報通信の世界では、IETF, IEEE, IEC, IPSO 始め多くの標準化団体が存在し、スマートグリッド通信技術の標準化に向けた活動を行っております。</p> <p>貴社のスマートメーターネットワークにおかれましても、これらの業界が策定する標準化技術を採用されることが、今後の貴社及び日本の発展に必ずや役に立つと、私どもは確信しております。</p> <p>以下、僭越ではございますが IP 及び標準化技術採用の利点に関し記述致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争原理が働くことにより、コスト削減が見込まれる ・異なるメーカー間の相互接続が可能になる (マルチベンダー構成が可能になる) ・新規技術導入のハードルが下がる ・海外に対する御社技術の展開が容易になる <p>一方で、Concentrator から上位が IP で AMI が独自技術の場合の問題点として以下が挙げられると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Concentrator で IP 変換が必要になり遅延の要因となる ・Concentrator は個々に機器設計が必要で高コストの要因となる ・ベンダーが限られ競争が発生せず、高コストの要因となる <p>10～15 年という長期のレンジで考えますと、AMI 自体や AMI と Concentrator との通信においても革新的な技術の導入が進むことが想定されます。IP 化しておいた場合のメリットは、</p>	通信方式に依らず、IP を実装する方針に変更することといたします。

	<p>L2 層以下に新技術が投入された場合にも、アドレス管理を含む IP の管理体系はそのまま用いることが出来ることです。これはすなわち運用管理面から考慮しても IP を基準とした標準化技術を採用されることは、独自技術を採用されることと比較しても有利と言えます。</p> <p>最後に、スマートグリッドネットワークはそれ単体で考えるべきものではなく、貴社の電力システム全体の中の1つとして捉えるべきと考えます。</p> <p>IP をベースとした技術は電力システムを統一した技術基盤で構築できる可能性を秘めており、その意味でも今回のスマートメーターネットワークは IP をベースとした技術で構築するべきであると考えます。</p> <p><理由> 添付資料「Cisco Connected Energy Network FieldArea Network Overview」 ご参照ください。</p>	
--	---	--